

統計に見る女性の 「仕事」と「生活」のいま



全国版

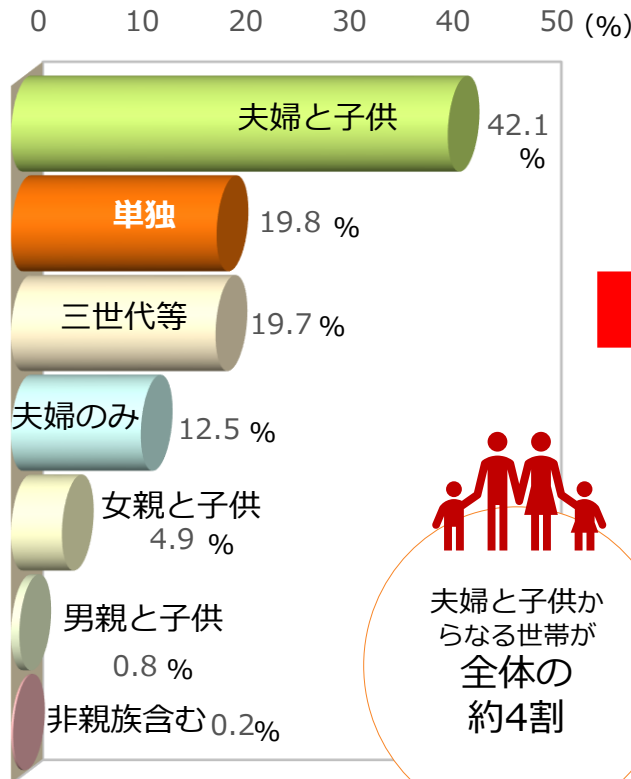


埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたま

変化する 家族の かたち

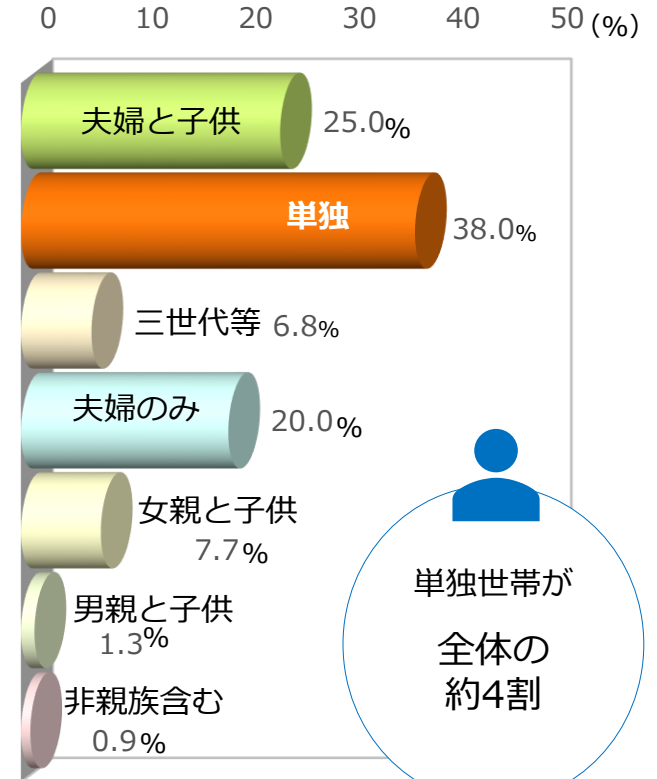
昭和55年

(1世帯あたり3.22人)



令和2年

(1世帯あたり2.21人)



資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

昭和から令和へと時代が移り変わり、家族のかたちは大きく変化しています。現在は、単独世帯が夫婦と子供から成る世帯を上回り、家族類型別では最も多いかたちとなっています。

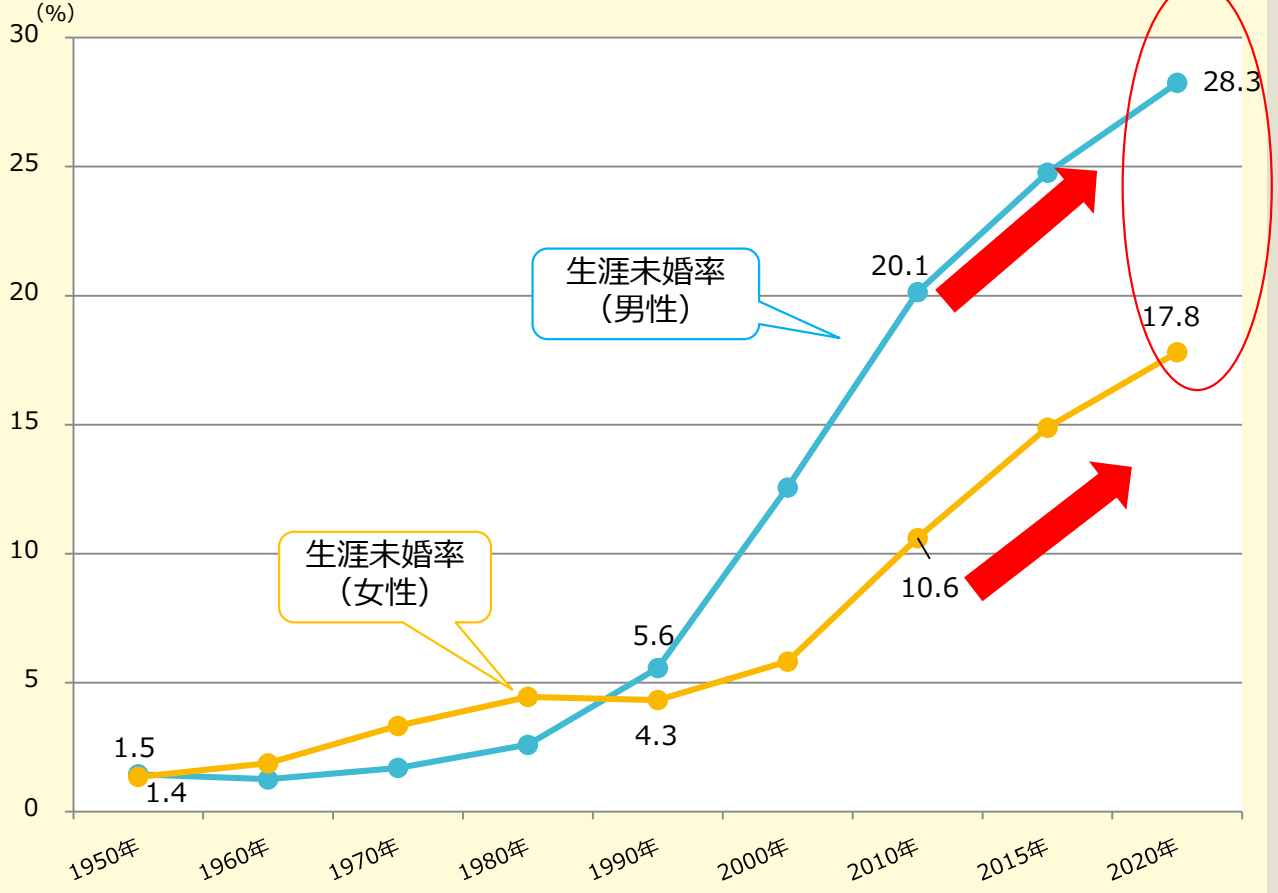
生涯未婚率が増えています。

平均初婚年齢	1975年 昭和50年	2020年 令和2年
男性	27.0歳	31.0歳
女性	24.7歳	29.4歳

資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2022年版）」



生涯未婚率の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2022年版）」
 ※生涯未婚率は、45～49歳と50～54歳未婚率の平均値※2015年・2020年の値は配偶関係不詳補完結果に基づく

【生涯未婚率】50歳時点で結婚をしたことのない人の割合

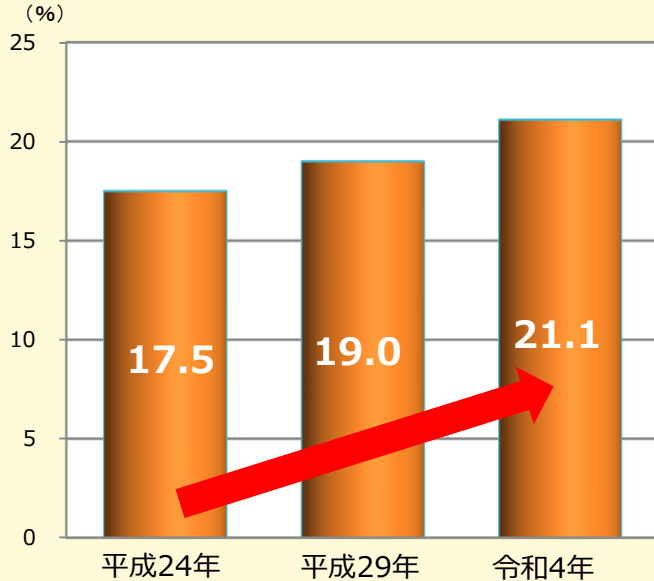
1950年（昭和25年）に1.5%であった生涯未婚率は、1990年代以降急激に増え続け、2020年では男性の約3割・女性の約2割が未婚となっています。

女性世帯主が増えています。

“生計の”主たる担い手としての役割

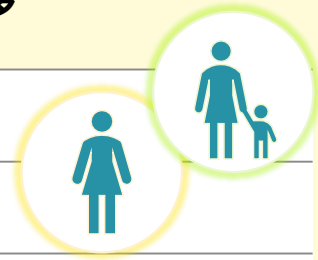
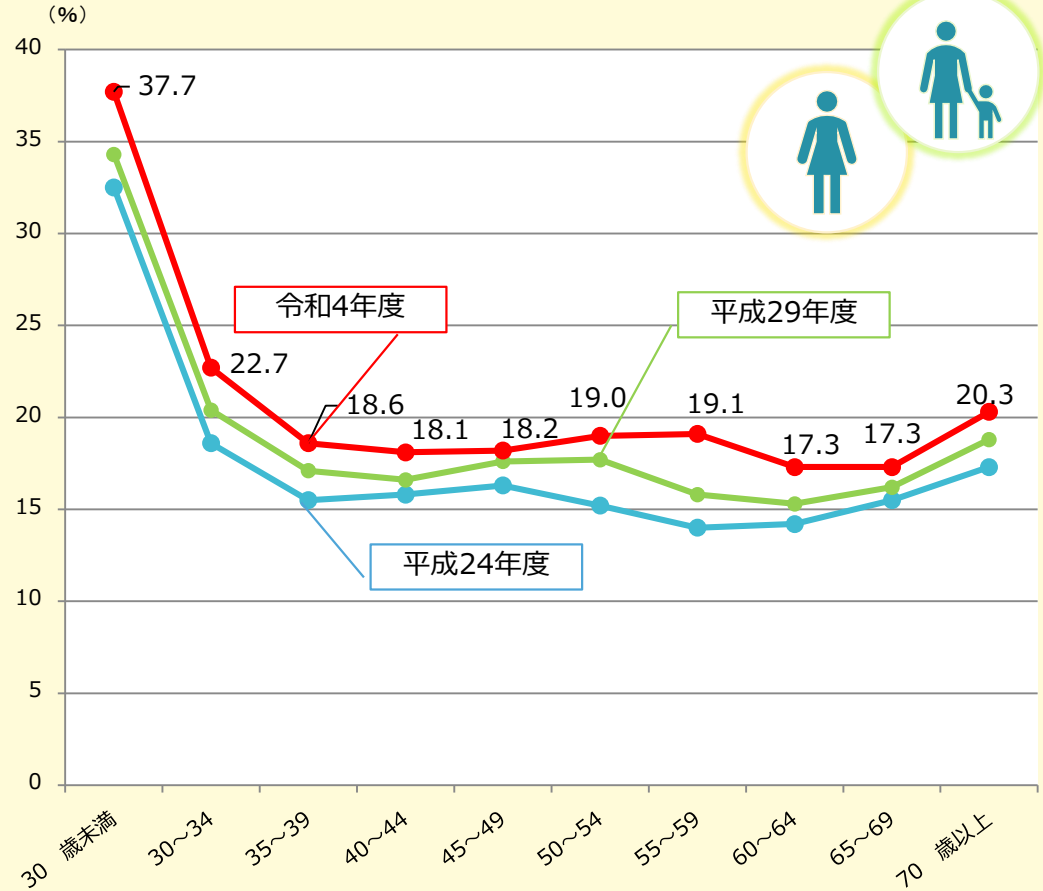
(一般・単身世帯の有業者に占める女性世帯主の割合)

女性世帯主の割合推移



出典：「平成24年・29年・令和4年就業構造基本調査結果」
(総務省統計局)

年齢階級別女性世帯主の推移

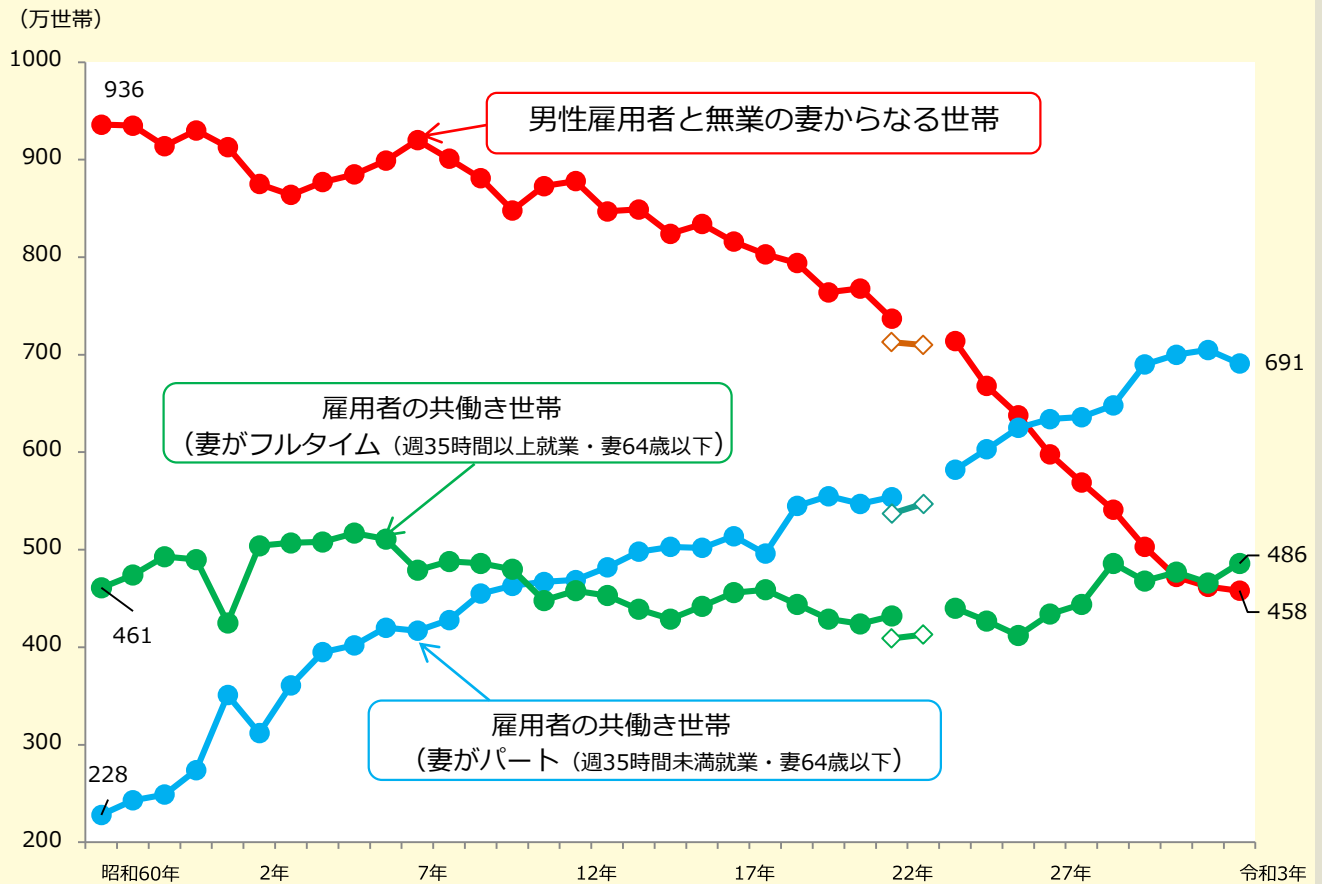


単身世帯等の増加で増えているのが、女性の世帯主です。こうした女性たちは、これまでの夫に扶養されることを前提とした成人女性のモデルとは異なり、**自ら世帯の主たる生計の担い手**となっています。

増えている
共働き世帯
その働き方は？



共働き等の世帯数の推移（妻が64歳以下の世帯）

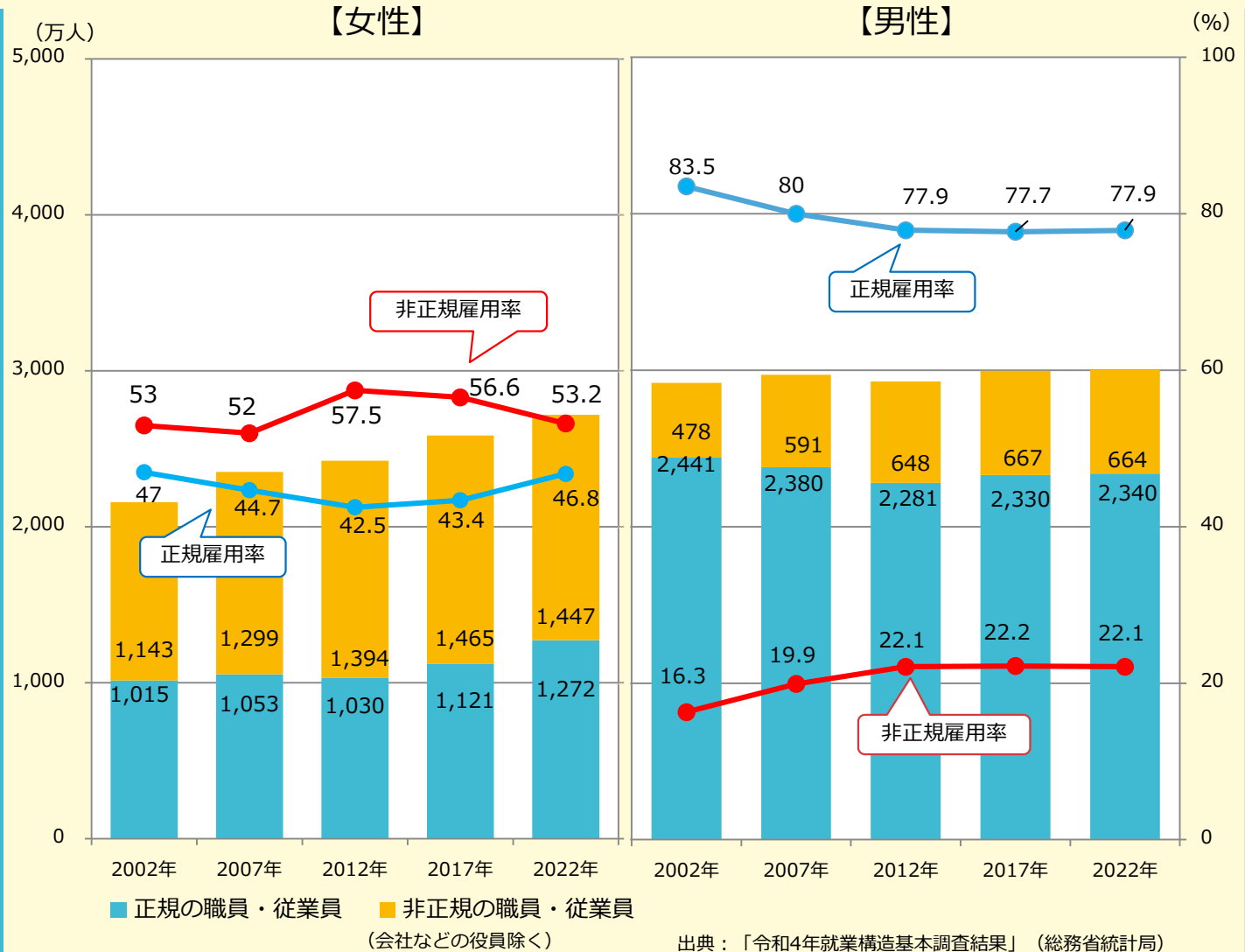


資料：内閣府男女共同参画局「令和4年版度男女共同参画白書」

昭和60年以降共働き世帯は増えています。妻の働き方別に見ると、妻がフルタイム労働（週35時間以上就業）の世帯数は、横ばいで推移しているのに対し、妻がパートタイム（週35時間未満就業）労働は約3倍に増えています。

雇用形態別雇用者数・構成割合の推移（2002年～2022年）

女性は
非正規雇用が
半数以上



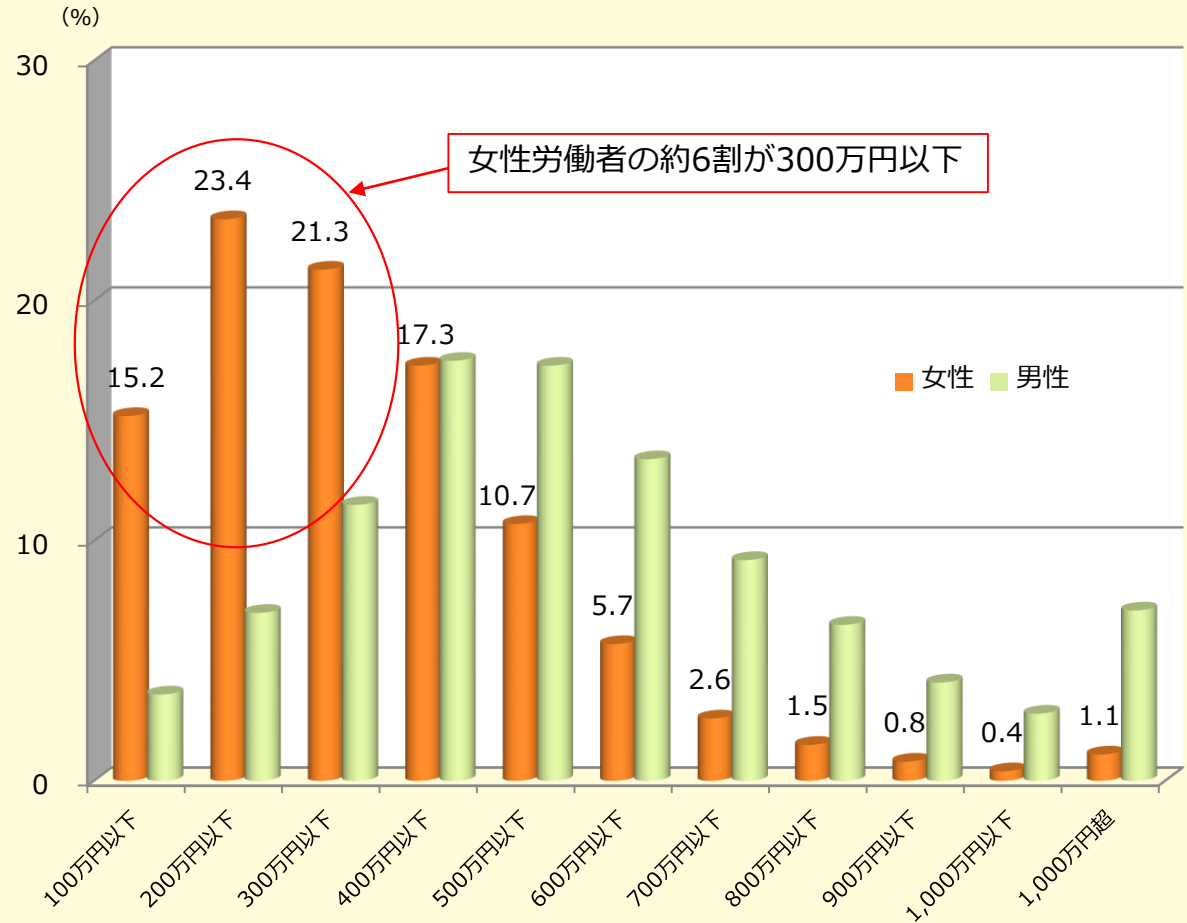
働く女性は増えてきましたが、その働き方はパート・アルバイトといった非正規雇用が中心です。正規雇用が中心の男性とは働き方に大きな違いがあります。

経済的にも不安定な女性の現状



家計の補助でいいわけじゃないけど…

給与階級別給与所得者の構成割合 (女性)



女性労働者の約6割が300万円以下

資料：国税庁「民間給与実態統計調査」(令和2年分)

非正規雇用が半数以上の女性と正規雇用が中心の男性との所得には大きな隔たりがあります。
女性は、経済的困窮に陥るリスクが高い現状があります。

働き方について
考えよう！



単独世帯の増加
非正規雇用の増加など
社会は大きく変化しています。

女性も男性も安心して暮らせる
社会をつくるために

幅広い分野で、制度・政策を点検し
見直していく必要があります。

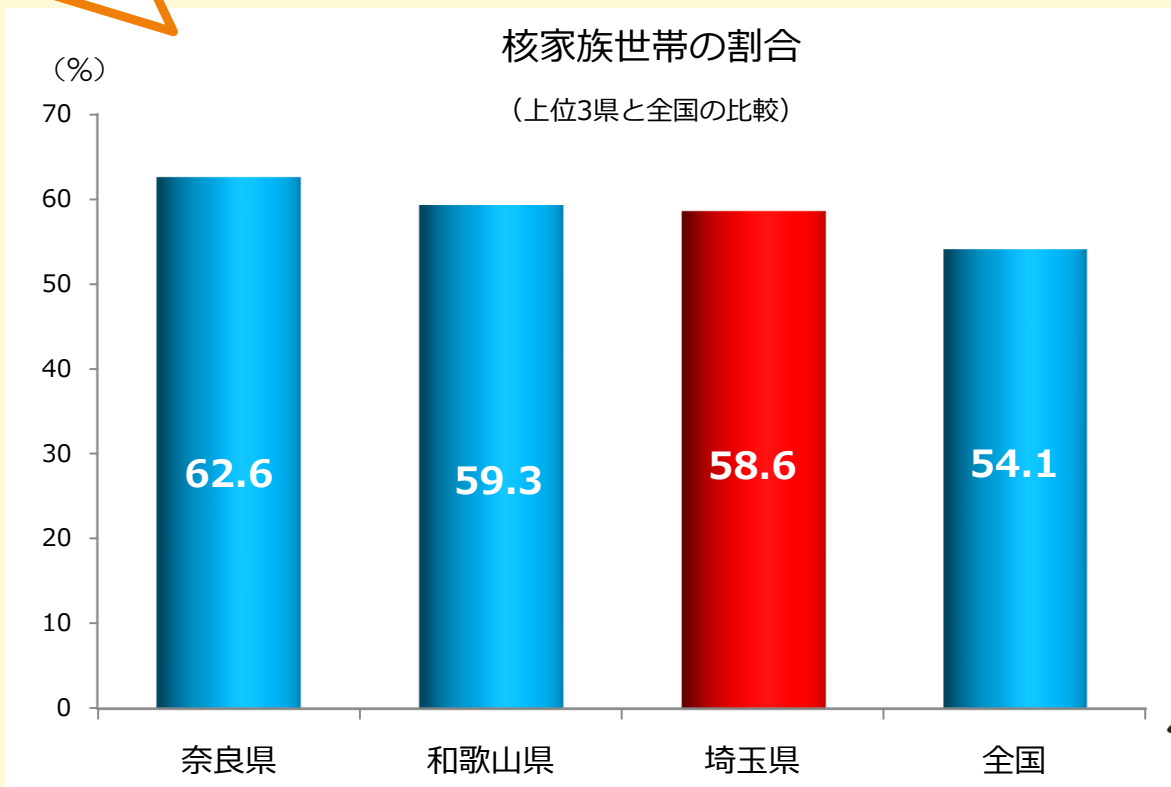
統計に見る女性の 「仕事」と「生活」のいま

埼玉県版



埼玉県では・・・
核家族世帯の占める率が
全国で3番目に高い！

埼玉県の一般世帯に占める核家族世帯の割合は、全国で3番目に高く、全国を4.5ポイント上回っています。

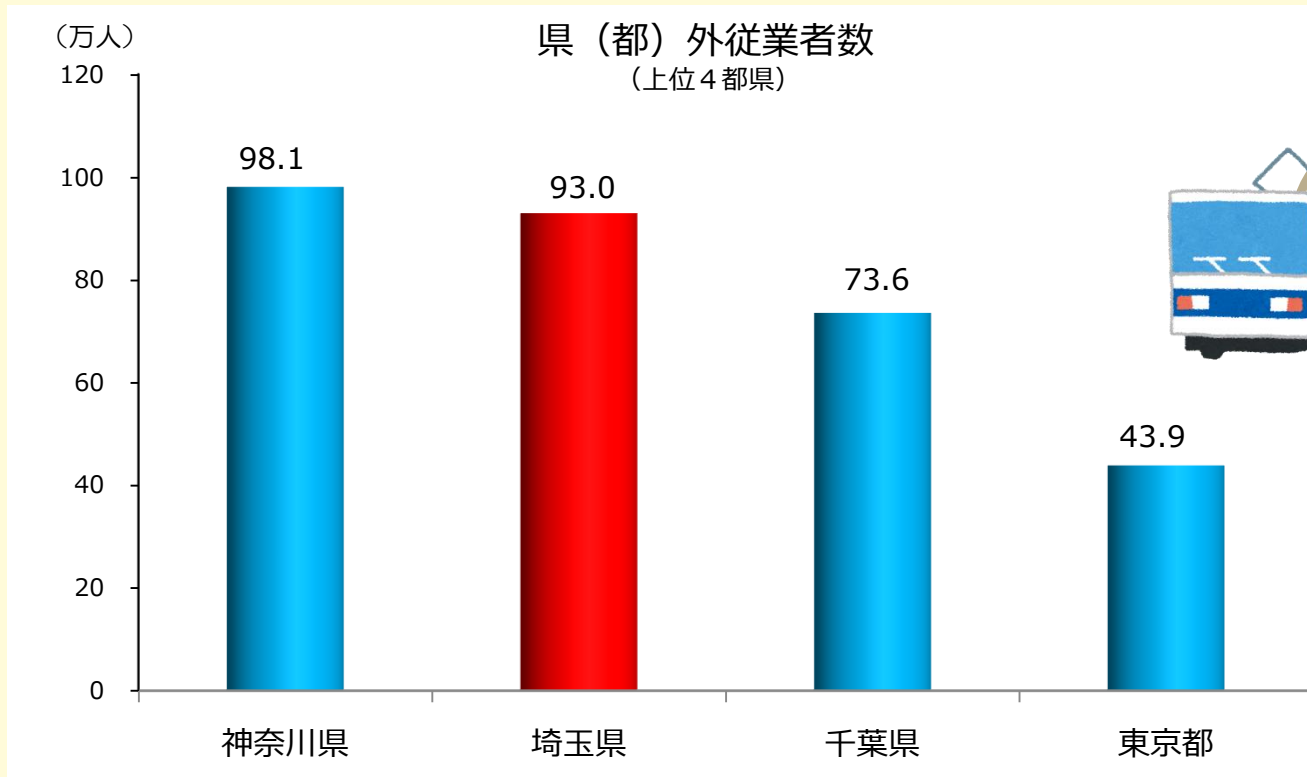


資料：総務省統計局「令和2年度国勢調査」

埼玉県は・・・

他県（都）への通勤者が
全国で2番目に多い！

他県（都）への15歳以上の通勤者は93万人
で全国で2番目に多くなっています。



資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

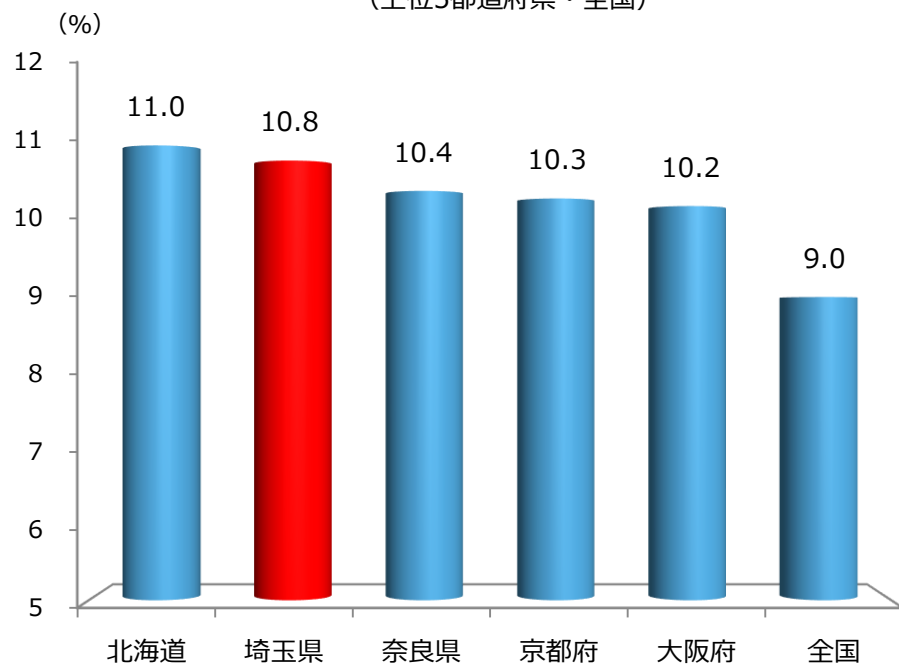
埼玉県では・・・

子育て期の男性の就業時間が
全国で2番目に長い！



子育て期の男性の就業時間は全国で2番目に長く、全国を1.8ポイント上回っています。

25～44歳男性雇用者（役員除く・年間就業日数200日以上）
のうち週60時間以上就業している者の割合
（上位5都道府県・全国）

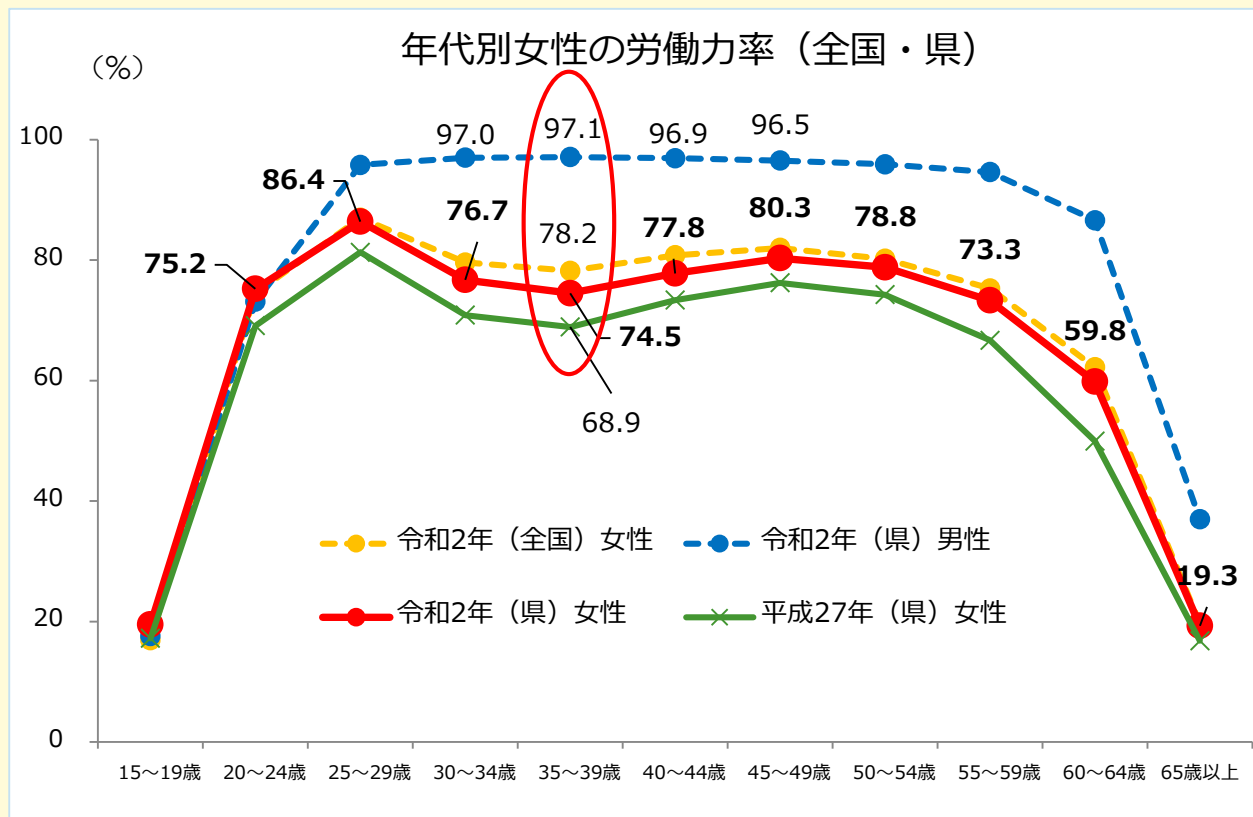


資料：総務省統計局「令和4年就業構造基本調査」

埼玉県は・・・
**女性の労働力率が出産・子育て
 期に低下している。**

埼玉県の女性のM字カーブの底は、上昇傾向にあるものの、県の男性（97.1%）や、全国の女性（78.2%）の数値と比べ、低い状況にあります。

※M字カーブ：女性労働力率・就業率が、結婚や出産の時期に当たる年代に一度低下し、育児が落ち着いたときに再び上昇すること。

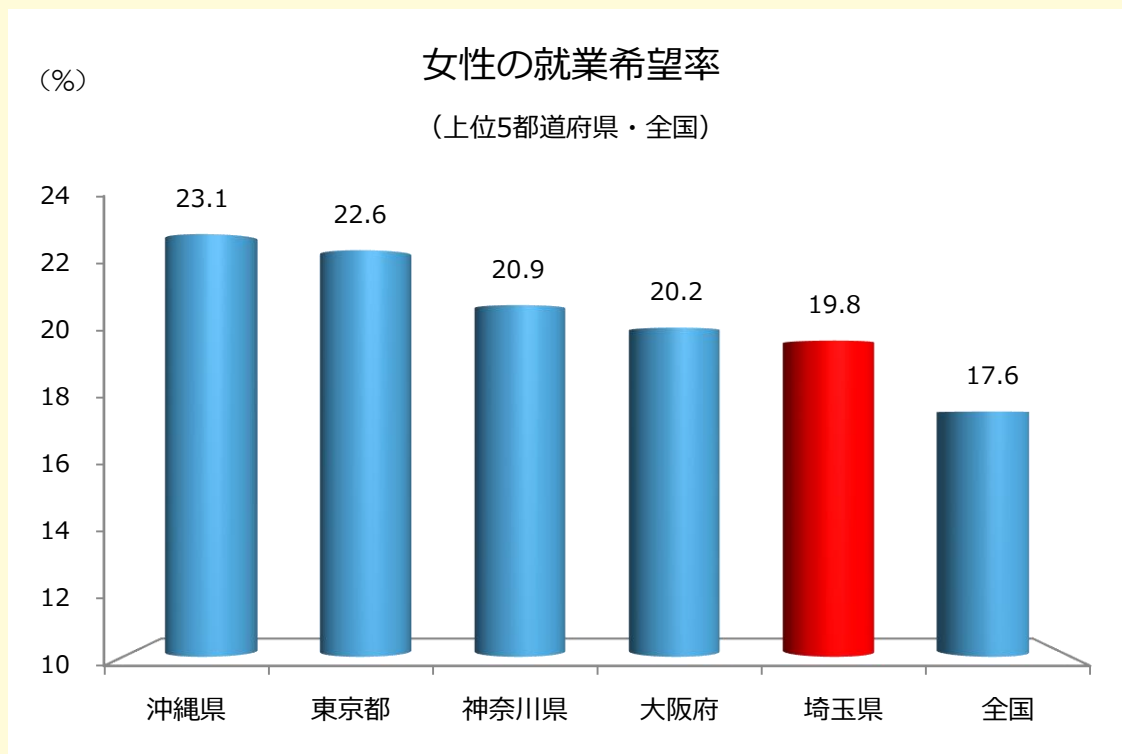


※労働力率については、不詳補完結果に基づく

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

埼玉県は・・・
女性の就業希望率が
全国で5番目に高い！

埼玉県の就業していない女性（154万人）に占める就業希望者の割合は、19.8%と全国で5番目に高く、全国に比べ2.2ポイント高くなっています。

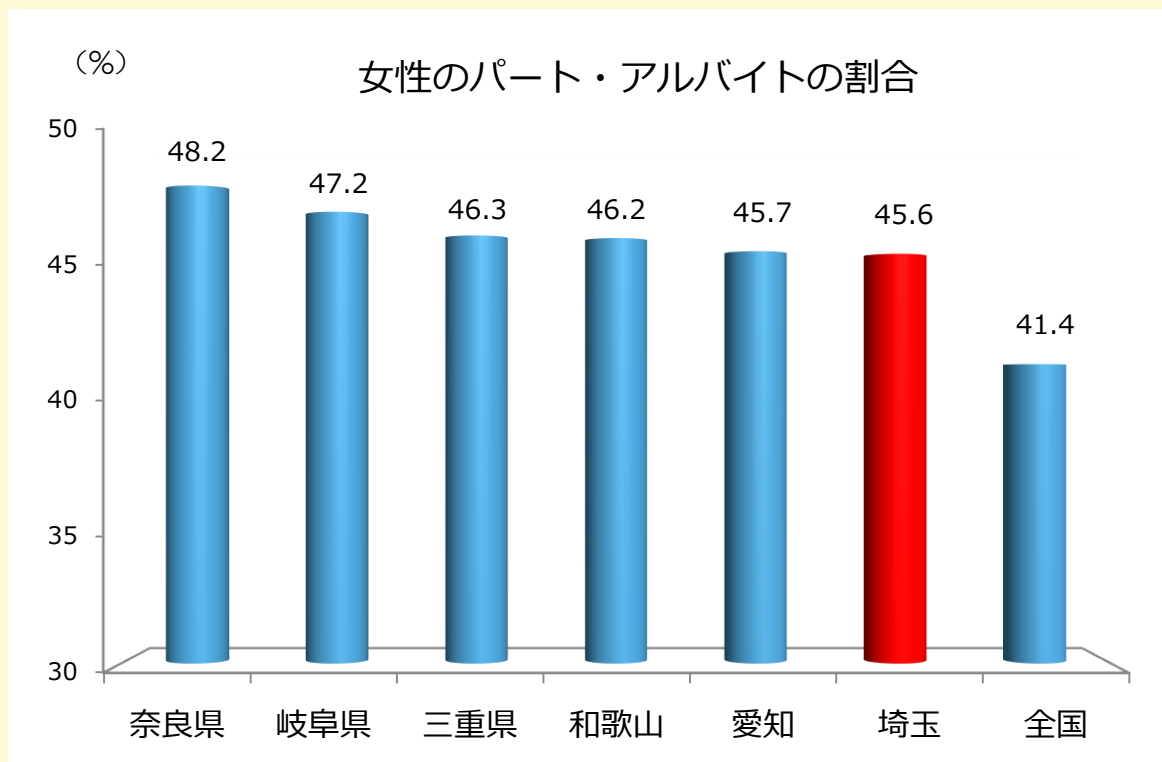


出典：「令和4年就業構造基本調査結果」（総務省統計局）



埼玉県は・・・
女性のパート・アルバイト
の割合が全国で6番目に高い

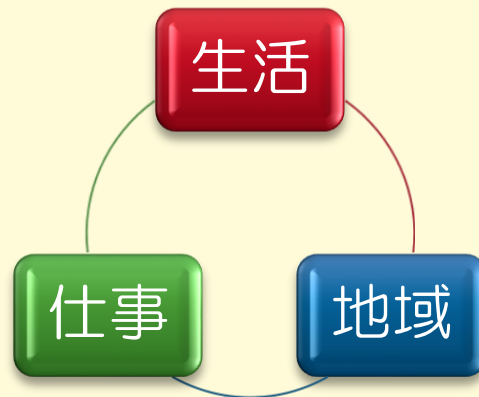
埼玉県の女性雇用者（役員を除く）に占めるパート・アルバイトの割合は、45.6%で、全国で6番目に高くなっています。



出典：「令和4年就業構造基本調査結果」（総務省統計局）



埼玉県の特徴からは、
「仕事」と「生活・子育て」の両立が難しい現状が
読み取れます。
働き方の見直しと同時に、社会全体で子育て支援に
取り組むことが大切です。



男女が互いに協力し、社会的支援を受けながら、
生活・仕事・地域活動の
バランスのとれたライフスタイルを実現していく
ことが求められています。